

地下埋設点検

道市川中現場で

日建連 公害対策委員会
災害対策

日本建設業連合会（日建連）の安全対策本部公衆災害対策委員会（竹中康一委員長）は7日、千葉県市川市で工事が進められている東京外郭自動車道（外環道）の市川中間（発注：東日本高速道路会社、施工：鹿島・大林組・鉄建）で地下埋設物現場点検を行った。点検には竹中委員長らが参加。鹿島との奥本現所

長から現場の概要説明を受けた後、現場をパトロール。電気やガス、水道、光ケーブルといった地下埋設物の事故防止対策や現場での教育状況などを確認した。

冒頭あいさつした竹中委員長は「地下埋設物の事故は、人命にかかわるほか、経済活動や市民生活に大きな被害をもたらすおそれがある。安全意識を高め、防護管理を推進し、事故防止の徹底を図っていただきたい」と語った。

同工事では、外環道の

千葉県内ルートのうち、京成本線と交差する延長1562mの地下区間を建設する。現在は主に掘削作業を行っており、来年から躯体構築が行われる予定。工期は15年11月3日まで。

日建連は、地下埋設物の安全管理の徹底やレベルアップを図る狙いから、建設三団体安全対策協議会と共に毎年2回、集中的に現場点検を実施している。今回は首都圏の計9現場を対象で、手分けしてパトロールを行っている。

山留工法の改善（中山貴）

（鴻池組）

▽宮水流域での地下掘削工法の最適化（仲野晋介）（西松建設）

▽地下躯体工事における工期短縮（大河内祥志）（戸田建設）

▽型枠工事のCAD/CAM活用による生産性向上（大田川滋裕）（竹中工務店）

▽営業線直上部に新設する駅舎の鉄骨建方工法の改善（久金徹哉）（前田建設）

▽杭頭半剛接合法における逆打ち工法の採用と工期短縮（吉田哲朗）（フジタ）

▽化粧屋根の納まりと意匠性の改善（原田修）（松井建設）

▽体育館屋根耐震補強工事における改善（米田和彦）（日本国土開発）

VE等施工改善7事例を紹介

日建連発表会



日本建設業連合会（日建連、中村満義会長）は6日、13年度の「VE等施工改善事例発表会」を

東京都千代田区の連合会館で開いた。優れたVE事例や施工改善事例、研究開発成果などを紹介し、コスト削減に向けた取り組みを生かしてもらうことが狙いで、日建連関係者ら約240人が参加した。本年度は14事例を報告書に掲載しており、同日の発表会ではこのうち7事例を紹介された。「日本の公共調達制度の特徴と課題」をテー

マに、木下誠也愛媛大教授による講演も行われた。

冒頭にあいさつした日建連の坂山修平専務理事は「全国のあらゆる現場でVEが進み、顧客満足度が向上して収益力がアップすることを期待している」と語った。写真。本年度の報告書で紹介された事例と発表者（敬称略、カッコ内は所属企業）は次の通り。

▽超高層建築物の仕上げ・設備工事における物流の効率化（浜田耕史）（大林組）

▽既存天井の調査・診断・提案業務の効率化（尾方大輔）（大成建設）

▽BIMを利用した設備工事の概算見積もり精度向上（堀真）（鹿島）

▽掘削工事にもなる地盤改良のコストダウン（山田勝也）（浅沼組）

▽仮設遮水層による地下水排水量の低減とコス

大気汚染防止法改正内容を説明

日建連ら環境公害対策講習会

日本建設業連合会の安全対策本部公衆災害対策委員会環境公害対策部会（土屋良直部会長）は6日、環境公害対策講習会



を東京・八丁堀のマンダホールで開いた。写真。建設三団体安全対策協議会との共催。大気汚染防止法の改正内容や、産業廃棄物の不法投棄状況、建設泥土の取り扱いなどについて、日建連や環境省、千葉県、東京都の担当者らがそれぞれ講義した。

冒頭、土屋部会長があいさつし、「建設工事に伴う公害防止と環境保全への適切対応は、個々の会社だけではなく、建設業全体への国民の信頼を大きく損なうことになる。的確な対策の推進にさらに努めていただきたい」と注意喚起した。